

## 会議概要録

### 開催概要

名称：平成20年度 第10回 東区自治協議会 第一部会  
日時：平成21年2月13日（金） 午前10時00分～午後11時50分  
場所：東区役所分館 B会議室  
出席者：委員  
鈴木委員，白井委員，木島委員，権平委員，田中委員，  
村山委員，小暮委員，岩橋委員，橋本委員，和田委員  
：事務局 政策企画課職員，総務課職員

### 審議内容

当日は前回に引続き「自主防災組織の結成促進」「自主防災組織の活動の活性化」をテーマに意見交換しました。

前回の議論では「自主防災組織の結成が遅れる理由」として

- ・ 自治会長が一年交代の場合は，面倒なことを避けて，組織の結成を後回しにしてしまう傾向がある。
- ・ 災害に対する現実感や危機感がないため，自主防災組織の必要性を感じていない人が多い

などの意見が出ていました。

自主防災組織の結成率を上げるために，

- ・ 世帯数の少ない自治会は，単独で自主防災組織を立ち上げることは難しいので，他自治会と合同で組織してはどうか。
- ・ まずはコミ協レベルなどの大きな単位で自主防災組織を立ち上げる。その後，可能なところから順に自治会単位で組織化して，活動していく方法もある（ただし，自主防災組織は各自治会単位で結成し活動することが理想である。コミ協など大規模な単位で結成した後，どれだけの自治会が個々に一人立ちして活動していくことができるのか問題として残る）。
- ・ 自主防災組織を未結成の自治会に対しては「防災体制全般の中では，既に立遅れた状態であり，災害時の避難所でも混乱してしまうことが予想される」という危機感を感じてもらえるような訴え方をしてはどうか。
- ・ 自主防災組織を結成することの意義やメリット，あるいは組織の作り方などについて，行政からやさしくわかりやすく示していく必要がある。
- ・ 自主防災組織を結成する際の手続きを簡略化できないか。（現状では提出書類が多く，最初から拒否反応を示す人もいるものと思う）
- ・ 地域での防災訓練に，自主防災組織未結成の自治会にも参加してもらうことで，意識付けを図る。

(結成済みの)自主防災組織の活動が活発でない理由として

- ・ (自主防災組織の結成が進まない原因と同様に)災害に対する危機感がない。
- ・ 災害時の要援護者への対応に見られるように,行政からの指示系統が縦割りであると自主防災組織の活動にもマイナスの影響が出るのではないか。

自主防災組織の活動を活性化させるために,

- ・ 町内回覧等で災害について啓発したり,自主防災組織の有効性について市担当者からの話を聞くなど災害に対する危機感を地道に啓発していく。
- ・ 実際に大きな災害に遭遇された人からの体験談を聞くなどにより,災害に対する危機感を高めてもらう。
- ・ 自主防災組織の会長 = 自治会長という形式的な組織づくりをやめて,自主防災組織の運営を実際に積極的に活動できる自治会青年部に任せるところ活動が活性化した。
- ・ 災害に備えて行政が用意している取組プログラムを市民に示しておく必要があるのではないか。そうした情報が全く無い状況では,自主防災組織としても訓練等の事前準備がやりにくいものと思う。

最後に

- ・ 次回は,これまで出された意見を集約し,整理することにしました。
- ・ 区ビジョンまちづくり計画の事業評価の手法についても検討することにしました。

次回開催について

日時:平成21年3月13日(金) 午前10時~

場所:東区役所分館 B会議室